



10-4 八王子学

多摩と八王子の江戸時代 ～地域の歴史と文化遺産を探る～



会場	学園都市センター ※ P87 参照
提供	法政大学
曜日・回数	火曜日 3回
時間	13:30～15:00
受講料	2,500円
定員	40名
実施日	10月 3日 31日 11月 7日
備考	

本講座では、八王子と八王子が位置する多摩地域における江戸時代の歴史と文化について講義します。

多摩地域と八王子の江戸時代は、天正18年(1590)6月の八王子城落城によって始まり、慶応4年(1868)6月の八王子千人隊の解体をもって終わります。この時代についてはこれまで多くの研究蓄積がありますが、特に本講座では、歴史事象を語る古文書などの文献史料だけでなく、地域の文化遺産を積極的に歴史の流れの中に位置づけ、文献史料に記されている「コト(事柄)」と非文献的な史資料である「モノ(物)」を通して多摩地域と八王子の新しい江戸時代史像を描いていくことにしたいと思います。

本講座は、2011年度から連続で開講してきています。今回は、江戸時代中期の多摩地域の産業、

文化、八王子千人同心の動向などを中心に講義することになります。

【講座計画】

- 第1回 街道の開設と地場産業の発展
- 第2回 多摩の地域文化とその発展
- 第3回 八王子千人同心の分布と在村生活

【教科書】

無し。毎回レジメを配布し、随時、参考文献などを紹介します。

※本講座は、平成29年度前期に開講した講座と同じ内容です。前期に開講した講座では応募者が定員を超え受講できない方が多くいたため、再度同じテーマ・内容で開講いたします。

受講生への メッセージ



現在、その土地で育まれてきた個性豊かな歴史と文化遺産を活かしたコミュニティづくりが日本各地において取り組まれています。この機会に本講座を受講し、地域の歴史や文化遺産を再発見し、自分たちの住む街の明日を考える糧にいただければ幸いです。

【講師】馬場 憲一(ばば けんいち) 大学院 人間社会研究科 教授

(経歴・専攻) 八王子市生まれ。法政大学大学院人文科学研究科修了。東京都教育庁学芸員を経て、現在、法政大学大学院教授。博士(文学)。研究の関心領域は、地域の歴史と文化遺産を活かすための文化環境政策。
(主要編著書)『近世都市周辺の村落と民衆』(雄山閣出版)、『多摩の代官』(共著 けやき出版)、『八王子千人同心史』(共著 八王子市教育委員会)、『大久保長安に迫る-徳川家康の天下を支えた総代官-』(共著 揺籃社)、『古文書にみる武州御嶽山の歴史』(共著 岩田書院)、『高尾山薬王院文書』、『高幡山金剛寺文書』、『武州御嶽山文書』(いずれも共編著 法政大学) など。